樹の木Ⅲ ボードラインフェンス

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠注 意

●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●フェンスは隣地境界線を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
●部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
・当製品は、木粉入り高密度樹脂製でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
●設置場所を確認してください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
●施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。

＜施工上のご注意＞つづき

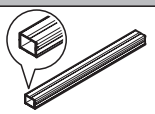
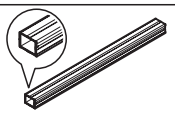
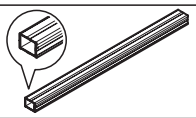
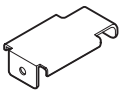
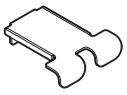
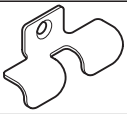
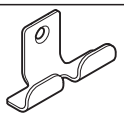
⚠ 注 意

・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
●ネジは弊社純製品の規定本数を確実に取付け、固定してください。
●支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがないでください。
●コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
●施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

【1】ボードライン柱セット

名　称	略　図	員　数					
		標準(T-6)	連結(T-6)	標準(T-8)	連結(T-8)	標準(T-10)	連結(T-10)
ボードライン柱(T-6)		1	1	—	—	—	—
ボードライン柱(T-8)		—	—	1	1	—	—
ボードライン柱(T-10)		—	—	—	—	1	1
柱上部金具		1	—	1	—	1	—
上止め金具		2	—	3	—	4	—
下受け金具		3	—	4	—	5	—
連結部柱上部金具		—	1	—	1	—	1
連結部上止め金具		—	2	—	3	—	4
連結部下受け金具		—	3	—	4	—	5

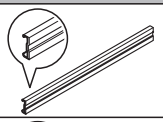
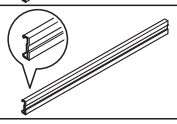
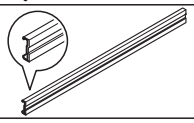
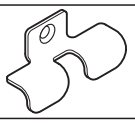
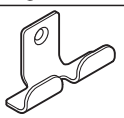
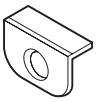
E211_200807B

■梱包明細表のつづき

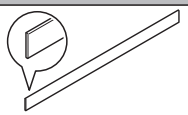
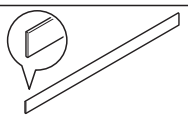
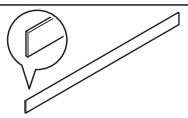
【1】ボードライン柱セットつづき

名　称	略　図	員　数					
		標準(T-6)	連結(T-6)	標準(T-8)	連結(T-8)	標準(T-10)	連結(T-10)
【1-1】φ4×25 サラドリルネジ		6	6	8	8	10	10
【1-2】φ4×10 トラスタッピンネジ 3種		2	2	2	2	2	2

【2】70角柱取付部材セット

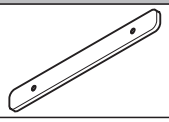
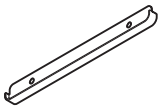
名　称	略　図	員　数					
		標準(T-8)	連結(T-8)	標準(T-10)	連結(T-10)	標準(T-12)	連結(T-12)
70角柱固定材(T-8)		1	1	—	—	—	—
70角柱固定材(T-10)		—	—	1	1	—	—
70角柱固定材(T-12)		—	—	—	—	1	1
上止め金具		4	—	5	—	6	—
下受け金具		4	—	5	—	6	—
連結部上止め金具		—	4	—	5	—	6
連結部下受け金具		—	4	—	5	—	6
70角柱固定材端部カバー		1	1	1	1	1	1
【2-1】φ4×25 サラドリルネジ		10	10	12	12	14	14

【3】 ボードセット

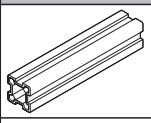
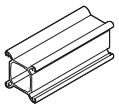
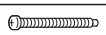
名　称	略　図	員　数					
		1スパン単体 端部用(2枚入)	1スパン単体 端部用(3枚入)	2スパン単体 端部用(2枚入)	2スパン単体 端部用(3枚入)	2スパン 中間用(2枚入)	2スパン 中間用(3枚入)
ボード1スパン(単体/端部用) L=1500		2	3	—	—	—	—
ボード2スパン(単体/端部用) L=2700		—	—	2	3	—	—
ボード2スパン(中間用) L=2400		—	—	—	—	2	3

■梱包明細表のつづき

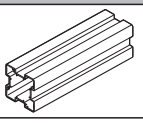
【4】カバーセット

名　称	略　図	員　数			
		ボード端部カバー（4個入）	ボード端部カバー（6個入）	ボード連結部カバー（2個入）	ボード連結部カバー（3個入）
端部カバー		4	6	—	—
連結部カバー		—	—	2	3
【4-1】φ4×10 特サラタッピンネジ 1種D=6		9	13	5	7
取付説明書 〈E211〉	—	1	1	—	—
取扱説明書 〈UE058〉	—	1	1	—	—

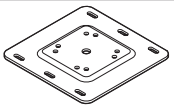
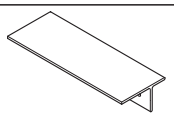
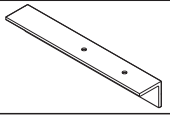
【5】主柱セット・ベース仕様

名　称	略　図	員　数
主柱（ベース仕様）		1
柱下側スリーブ材		1
柱キャップ		1
【5-1】φ4×20サラタッピン3種		4
【5-2】φ5×40ナベタッピン2種G=5		4
【5-3】φ4×16サラドリルネジ		2

【6】アルミ主柱セット・ベース仕様

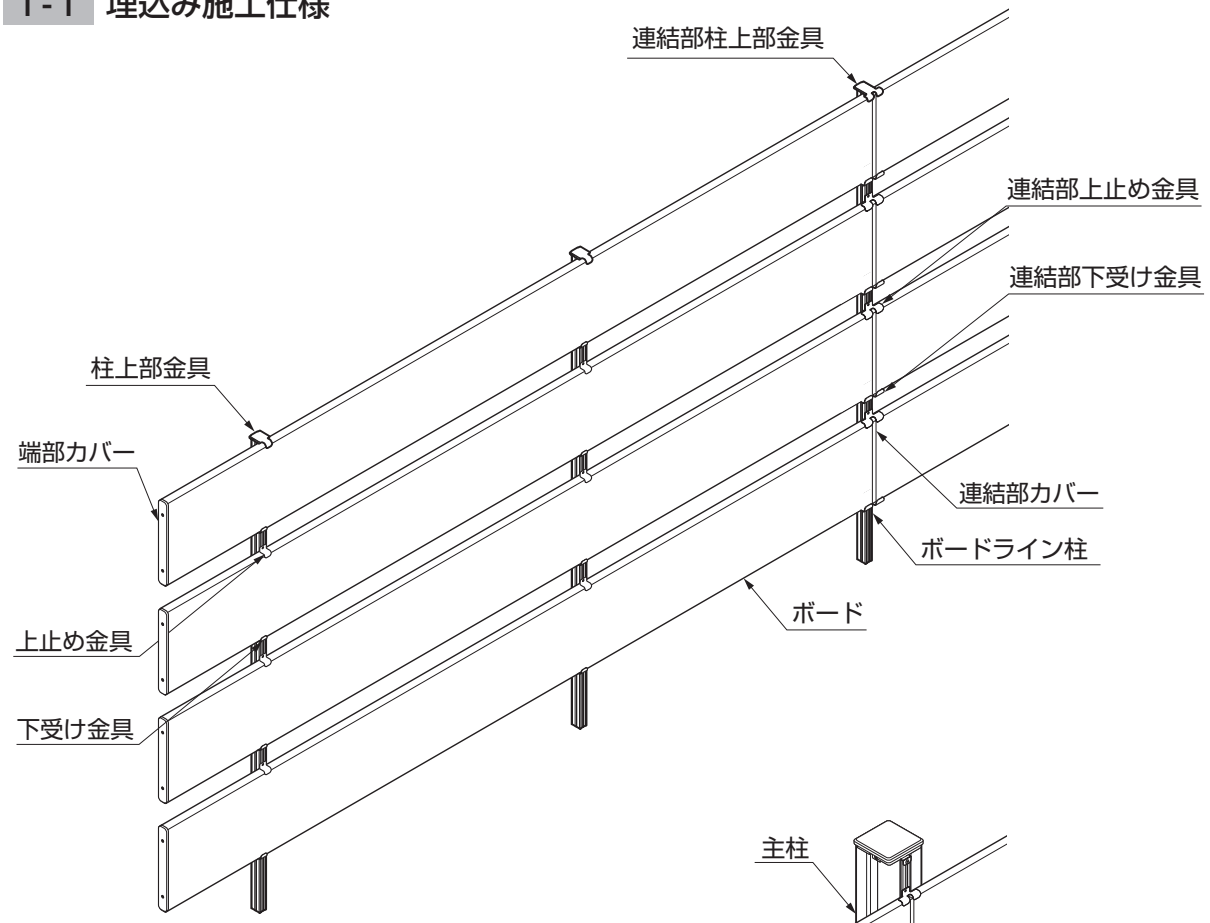
名　称	略　図	員　数
アルミ主柱（ベース仕様）		1
柱キャップ		1
【6-1】φ5×40ナベタッピン2種G=5		4
【6-2】φ4×16サラドリルネジ		2

【7】ベースプレートセット

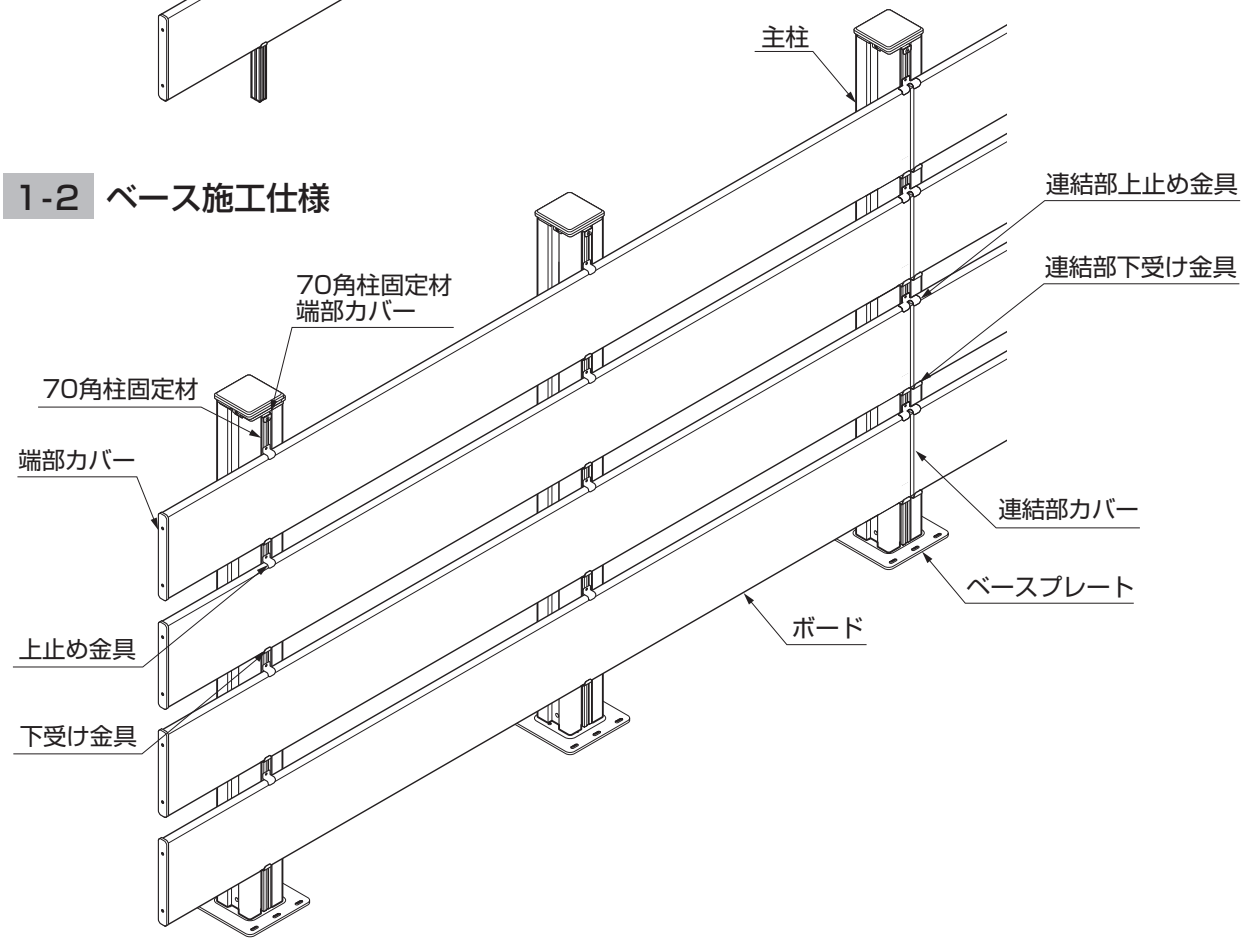
名　称	略　図	員　数		
		大引き固定用	床板補強材固定用	床板固定用
ベースプレート		1	1	1
フェンス-大引き固定アングル		2	—	—
フェンス固定アングル		—	—	2
【7-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—
【7-2】φ5×60ナベドリルネジ		6	6	5
【7-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2

1. 各部名称

1-1 埋込み施工仕様



1-2 ベース施工仕様



2. 基本寸法図 ※1枚のボードに対して必ず中間に柱がくるように施工してください。

2-1 連続施工でボード2スパン（単体/端部用）を端部に使用の場合

（1）埋込仕様

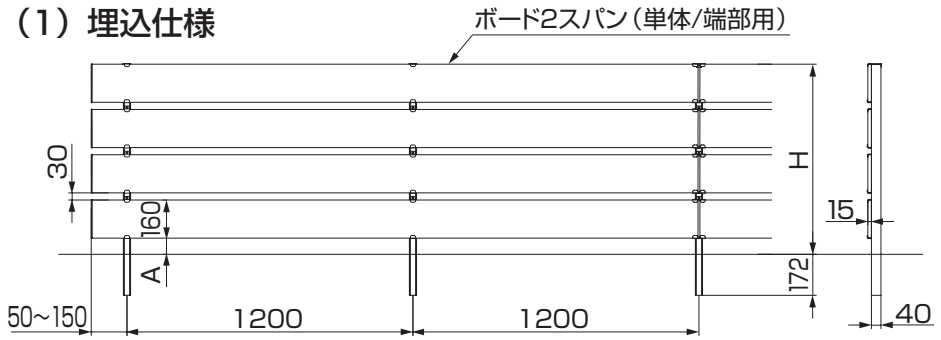


表2-1

	H	A	ボード枚数
T-6	600	60	3
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5

（2）デッキ仕様

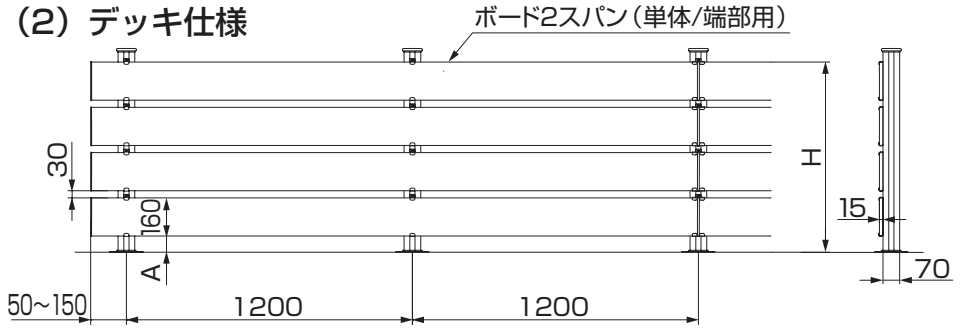


表2-2

	H	A	ボード枚数
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5
T-12	1200	90	6

2-2 連続施工でボード1スパン（単体/端部用）を端部に使用の場合

（1）埋込仕様

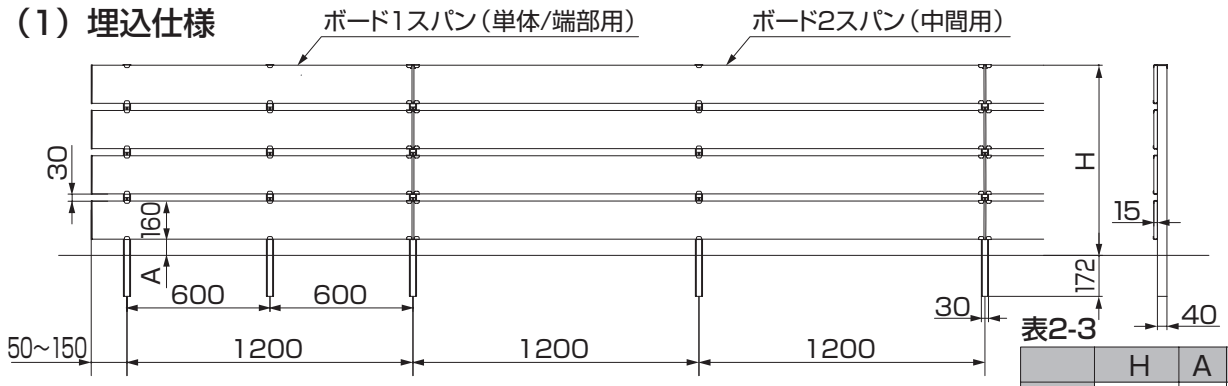


表2-3

	H	A	ボード枚数
T-6	600	60	3
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5

（2）デッキ仕様

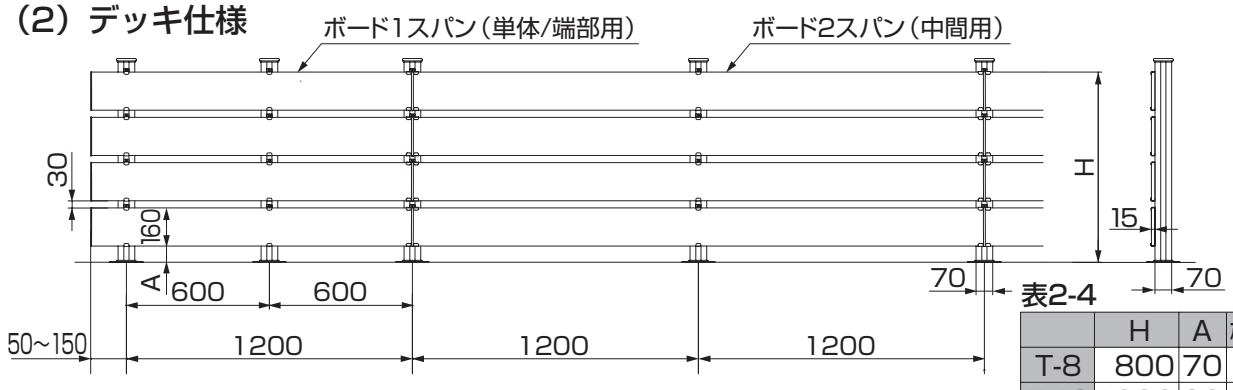


表2-4

	H	A	ボード枚数
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5
T-12	1200	90	6

E211_200603A

2. つづき

2-3 単体施工 ボード2スパン（単体/端部用）使用の場合

（1）埋込仕様

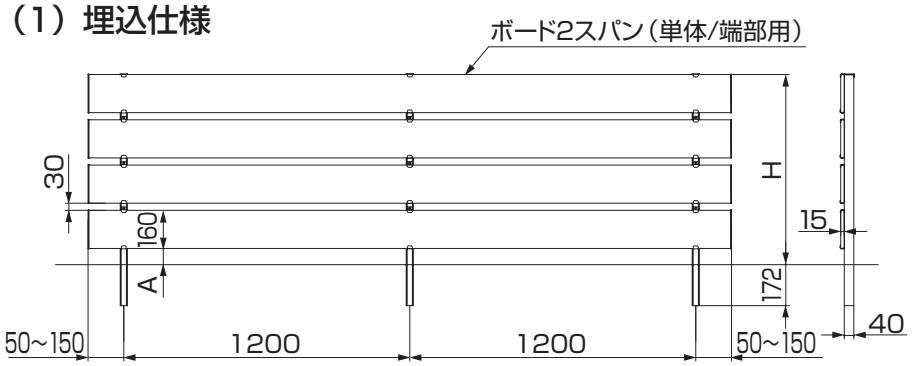


表2-5

	H	A	ボード枚数
T-6	600	60	3
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5

（2）デッキ仕様

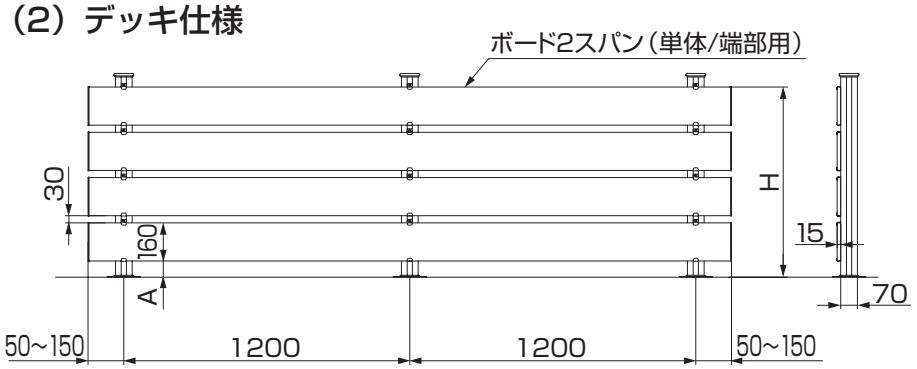


表2-6

	H	A	ボード枚数
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5
T-12	1200	90	6

2-4 単体施工 ボード1スパン（単体/端部用）使用の場合

（1）埋込仕様

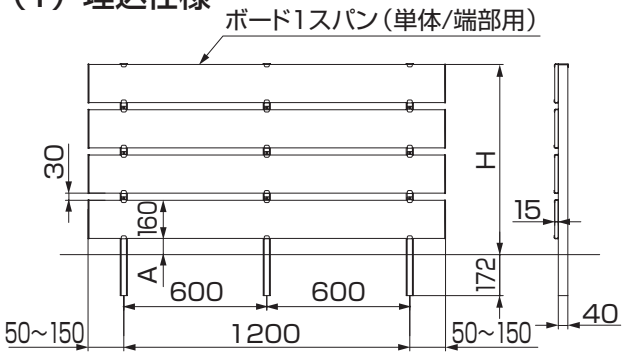


表2-7

	H	A	ボード枚数
T-6	600	60	3
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5

（2）デッキ仕様

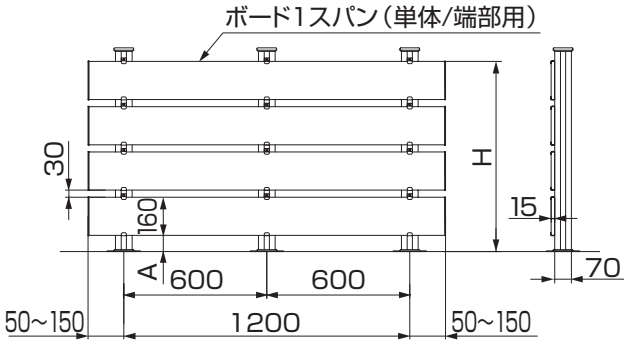


表2-8

	H	A	ボード枚数
T-8	800	70	4
T-10	1000	80	5
T-12	1200	90	6

3. 柱の施工　埋込施工仕様　※図はコーナー角度90°の場合です。

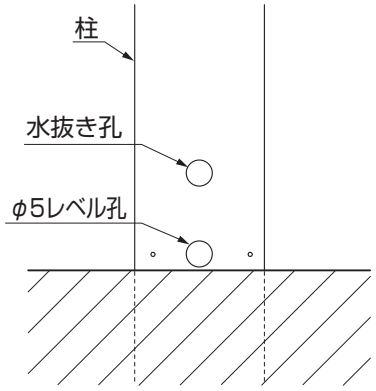


図3-1

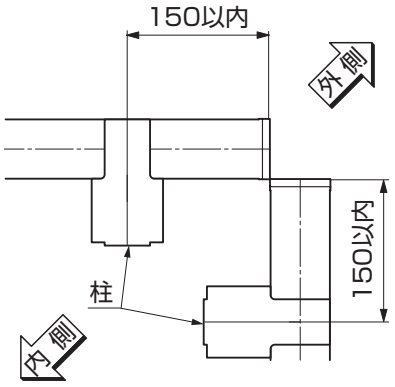


図3-2

①各柱を「2.基本寸法図 」にしたがって、モルタルで固定してください。

ポイント

- ●各柱のレベル孔は水平にそろえて取付けてください。水平にそろっていないとフェンスの連結ができなかったり、上ブラケットが取付かない場合があります。（図3-1参照）
- ●柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- ●コーナー部には風が集中するため、必ず柱を2本建施工してください。（図3-2参照）

4. ボードラインフェンスの取付　埋込施工仕様

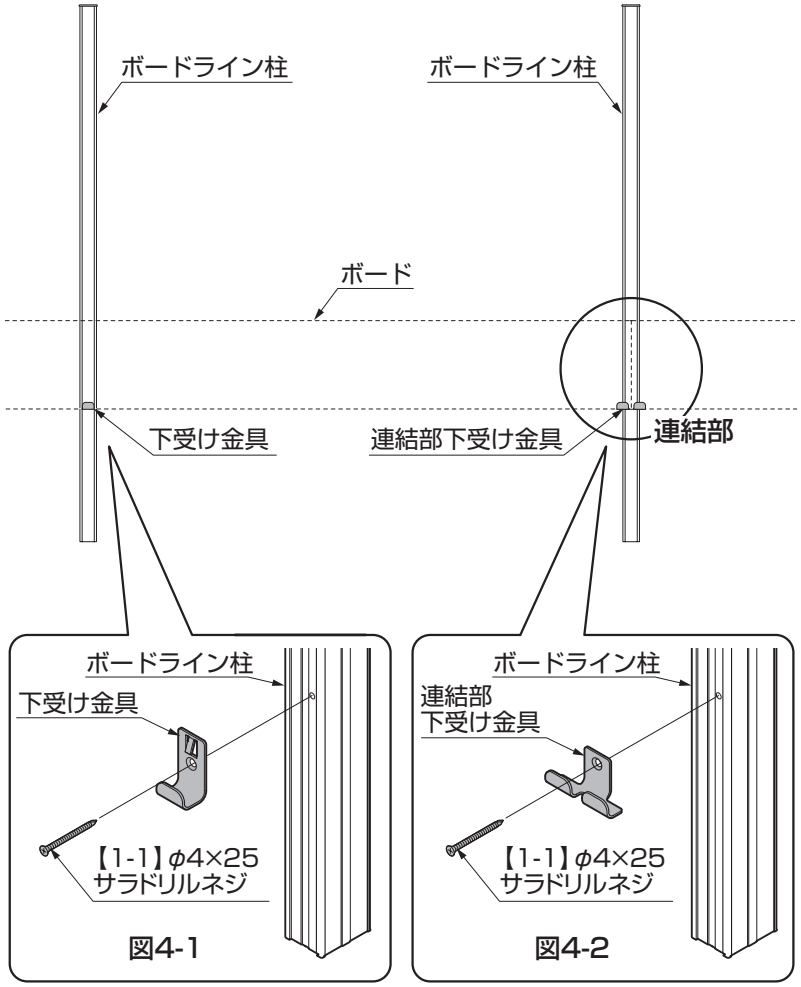


図4-1　図4-2

①下受け金具、または連結部下受け金具をボードライン柱の下孔に合わせて、【1-1】で取付けてください。（図4-1、4-2参照）

ポイント

- ●ボードの連結部位置のボードライン柱には連結部下受け金具を取付けてください。

E211_200807B

4. つづき

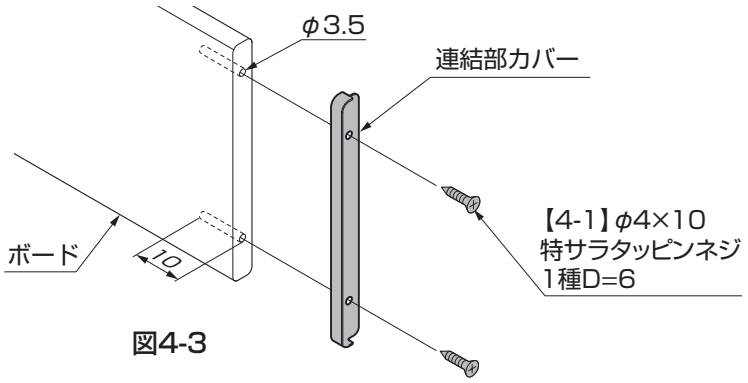


図4-3

②連結部カバーを、連結するボードの片側の端面に、【4-1】で取付けてください。
（図4-3参照）

ポイント

●取付ける孔位置にφ3.5で深さ10の下孔を開けてから取付けてください。

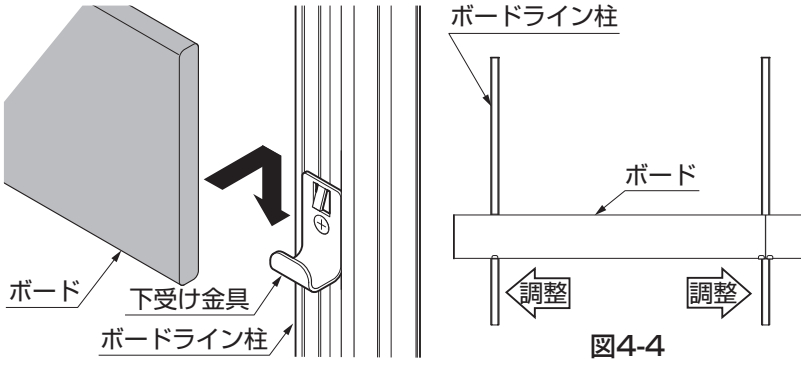
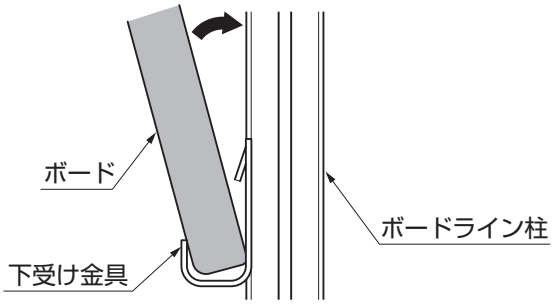


図4-4

③ボードを下受け金具に載せ、ボードの端部張り出し寸法、および連結部の位置を確認し、左右方向の調整をしてください。（図4-4参照）

ポイント

●ボードを固定した後は、左右方向の調整ができなくなります。ボードを固定したあとに、無理に左右方向に動かすと部材が破損するおそれがあります。



④ボードをボードライン柱に押し付け、上止め金具または連結部上止め金具と【1-1】で、ボードライン柱の下孔に合わせて、ボードを固定してください。（図4-5、4-6参照）

ポイント

●ボードの連結部位置の柱には連結部上止め受け金具を取付けてください。

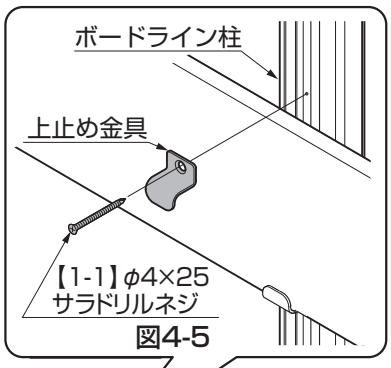


図4-5

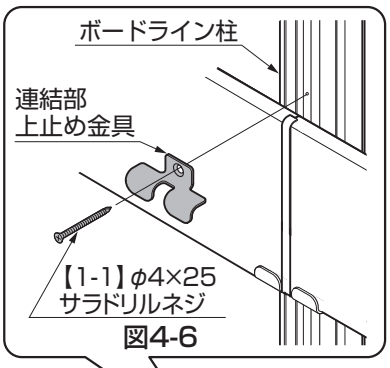
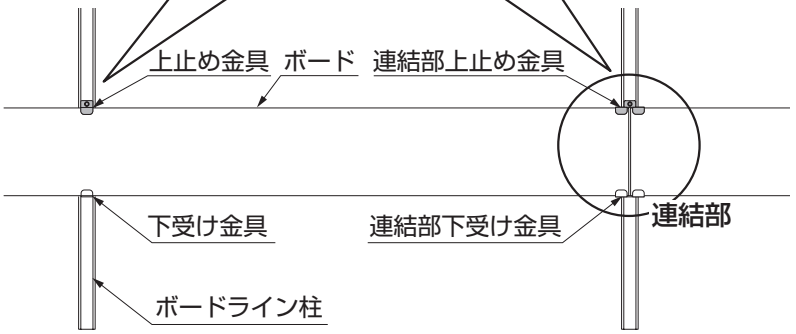


図4-6

⑤2枚目以降も同様に取付けてください。



E211_200807B

4. つづき

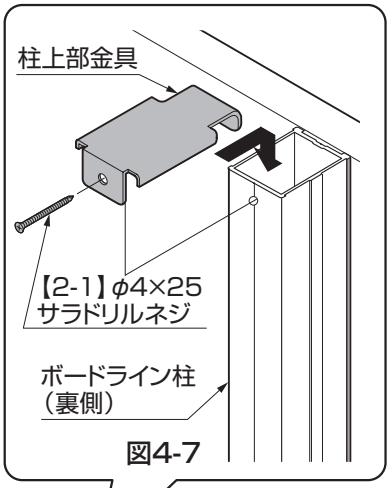


図4-7

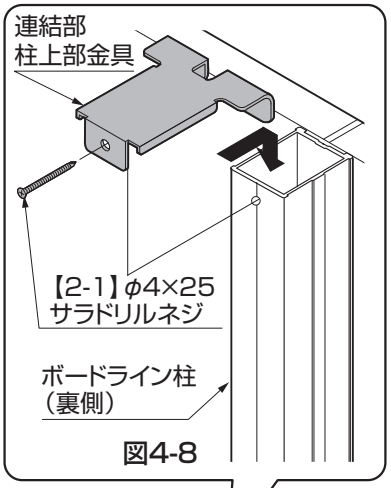


図4-8

⑥最上段のボードは、柱上部金具または連結部柱上部金具と、【2-1】でボードライン柱の下孔に合わせて固定してください。（図4-7、4-8参照）

ポイント

●ボードの連結部位置のボードライン柱には連結部柱上部金具を取付けてください。

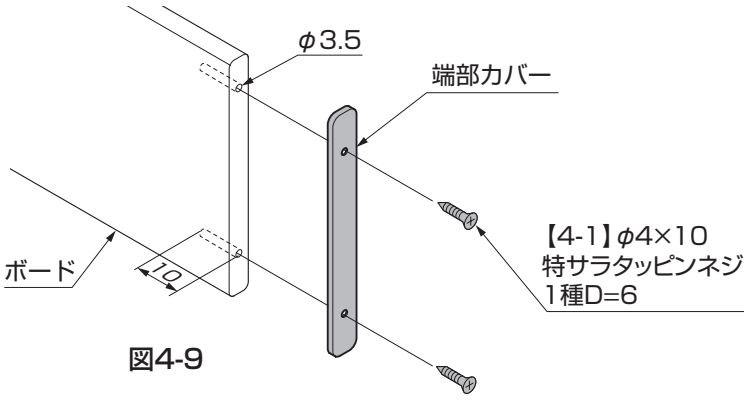


図4-9

⑦ボードの端部に端部カバーを、【4-1】で取付けてください。（図4-9参照）

ポイント

●取付ける孔位置に、φ3.5で深さ10の下孔を開けてから取付けてください。

5. 柱の準備

5-1 主柱（ベース仕様）の場合

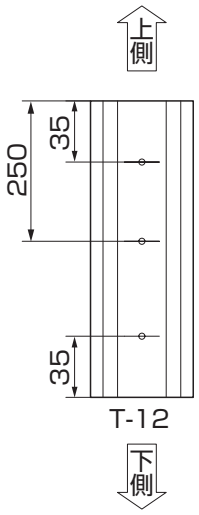


図5-1

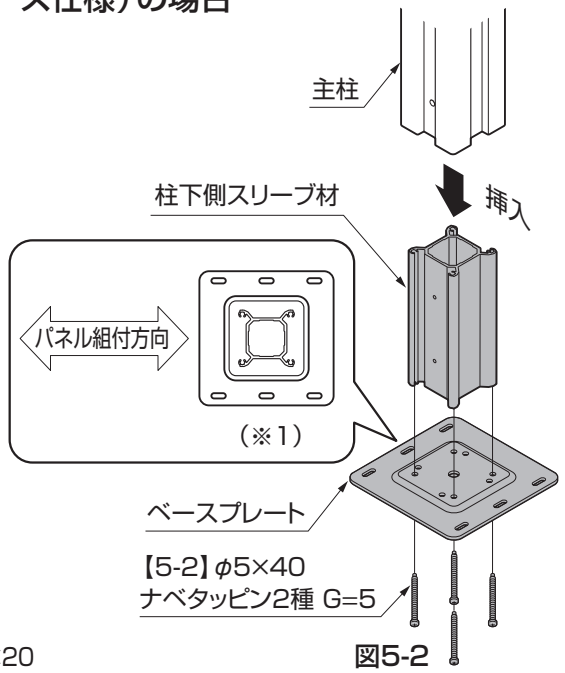


図5-2

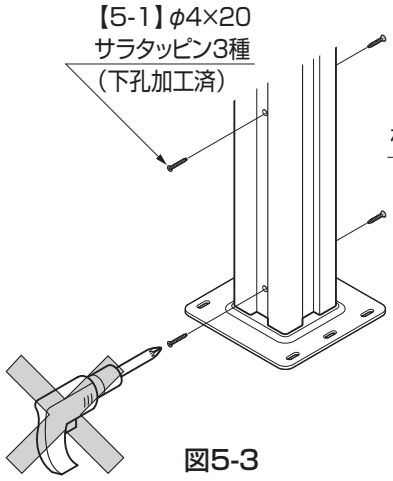


図5-3

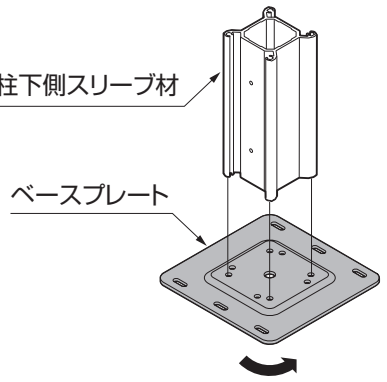


図5-4

補足

- ●柱には上下の区別があります。
- ●T-12柱スリーブ材には上下の区別があります。（図5-1参照）

①ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、【5-2】で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。

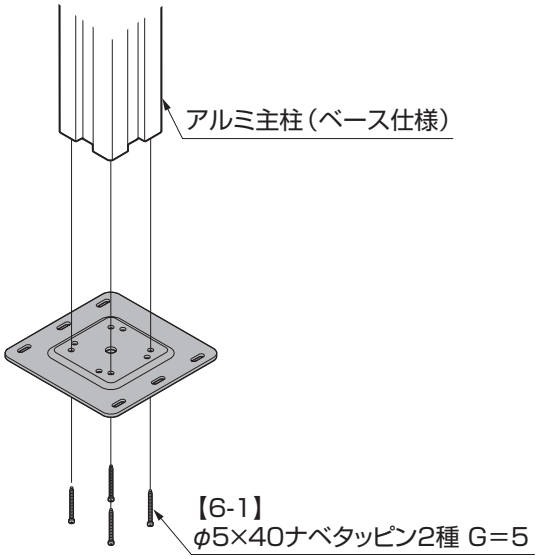
②主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。（図5-2参照）

③主柱の孔位置から【5-1】で、主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。

ポイント

- ●主柱の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- ●人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。
- ●デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。（図5-4参照）

5-2 アルミ主柱（ベース仕様）の場合



補足

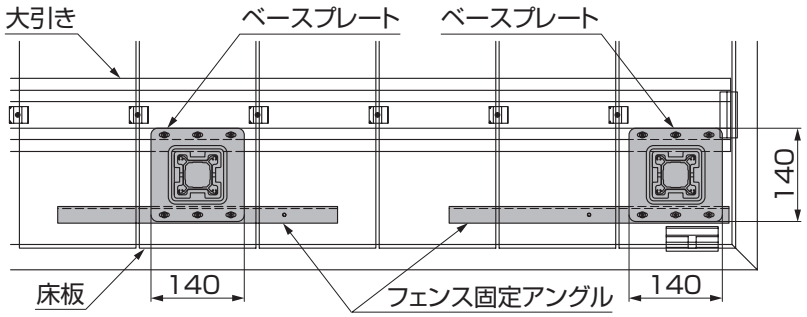
- ●柱には上下の区別があります。

①ベースプレートの裏側からアルミ主柱（ベース仕様）を【6-1】で、4ヶ所固定してください。

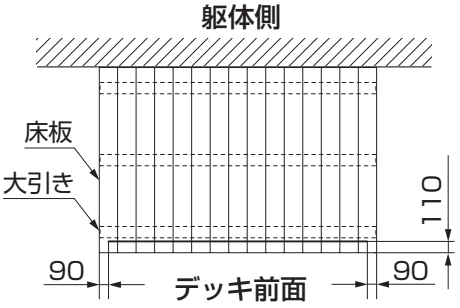
6. 柱の組付け

6-1 ベース柱

（1）正面床板固定の場合



中間部　図6-1　端部



柱設置可能範囲（柱芯寸法）
図6-2

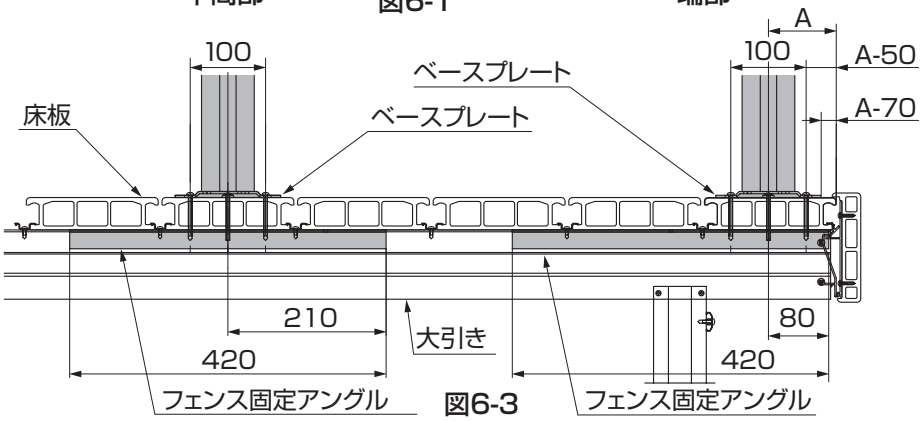


図6-3

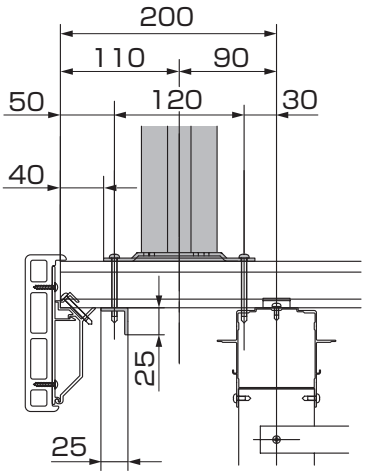


図6-4

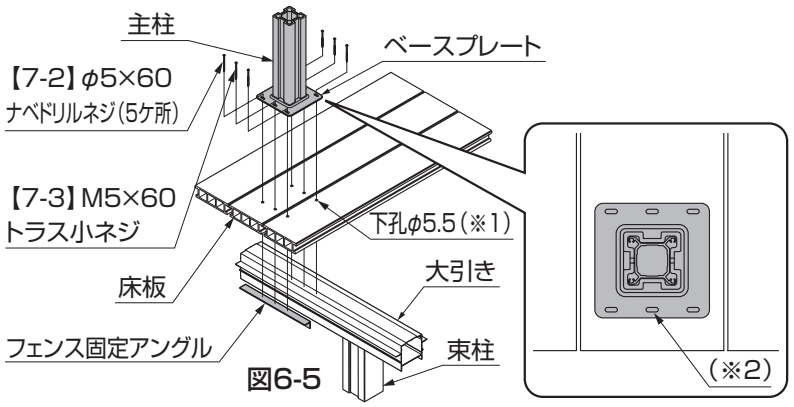
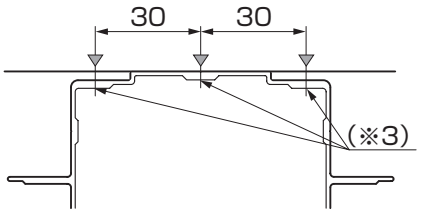


図6-5



ネジ取付可能位置 ▼
図6-6

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図6-1、図6-2、図6-3、図6-4を参照して取付けてください。
- ●図6-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●図6-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。（※1）

⚠ 注 意

- ●大引きにネジを取付ける際、図の位置3ケ所（※3）以外に取付けないでください。

④ベースプレートを【7-2】で、床板の下の大引きまで3ケ所取付けてください。
⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【7-3】で取付けてください。（※2）
⑥【7-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ケ所取付けてください。

6. つづき

(2) 正面大引き固定の場合

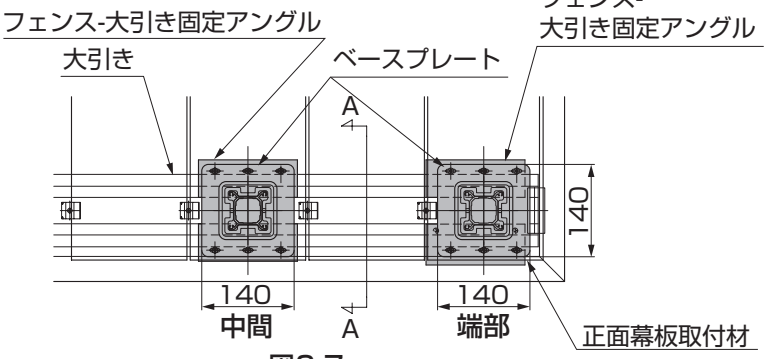
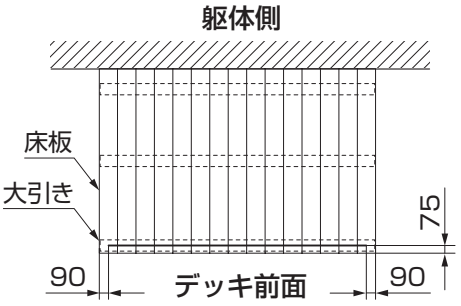


図6-7



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図6-8

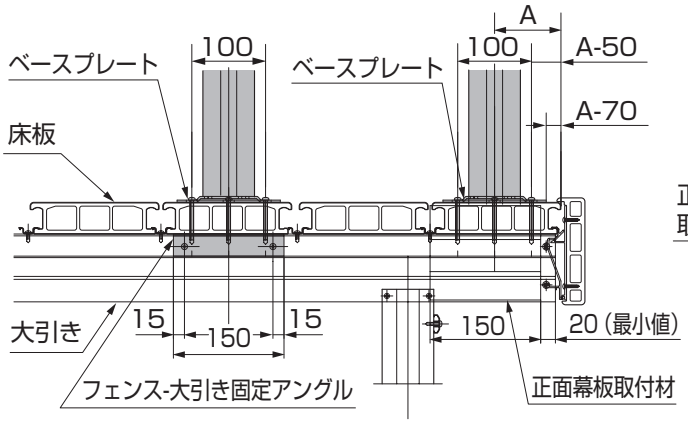


図6-9

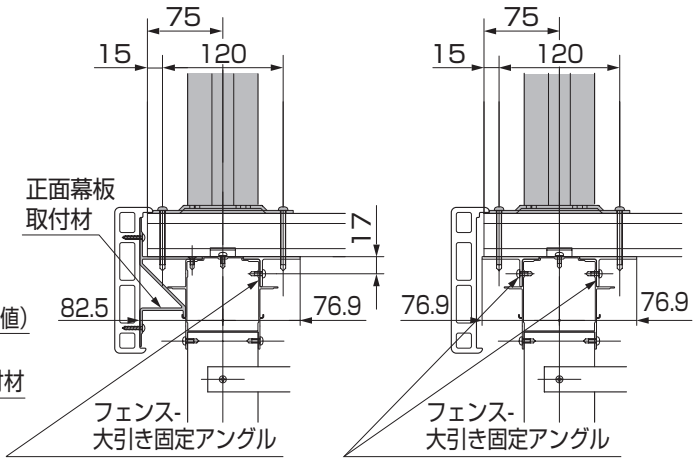


図6-10　A-A矢視図

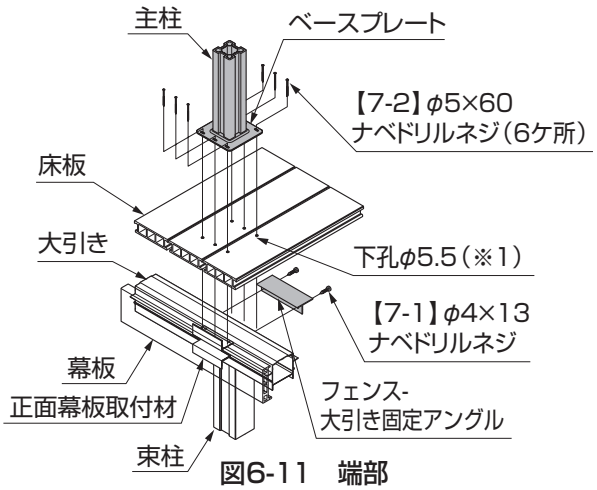


図6-11　端部

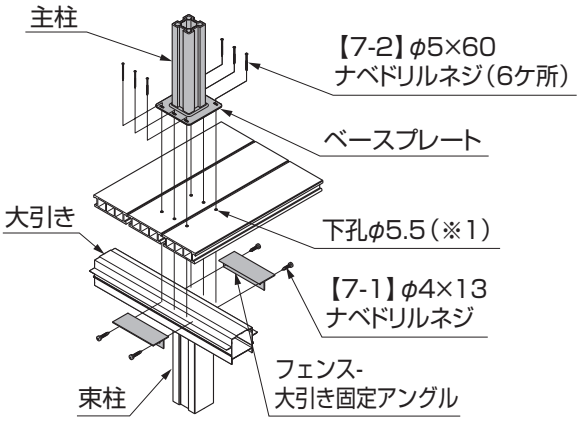


図6-12　中間

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

●デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図6-7、図6-8、図6-9、図6-10を参照して取付けてください。
●図6-9のA寸法値の最小値は90mmです。
●図6-9のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。
③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。（※1）
④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【7-1】で取付けてください。
⑤ベースプレートを【7-2】で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

6. つづき

（3）側面床板固定の場合

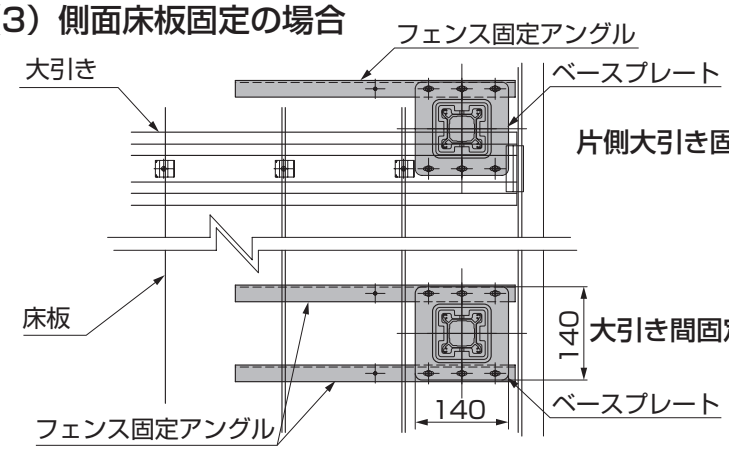
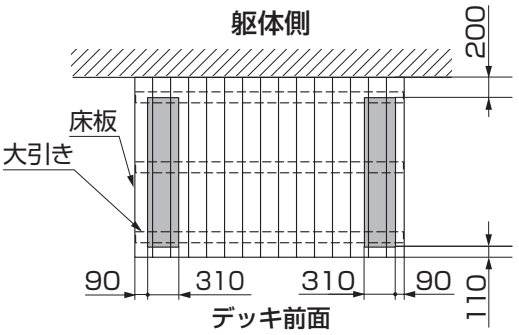


図6-13



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図6-14

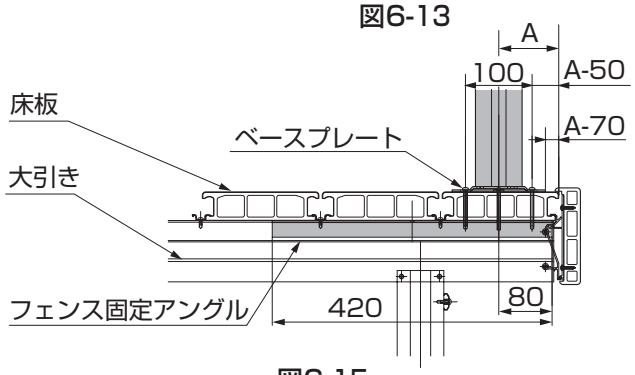


図6-15

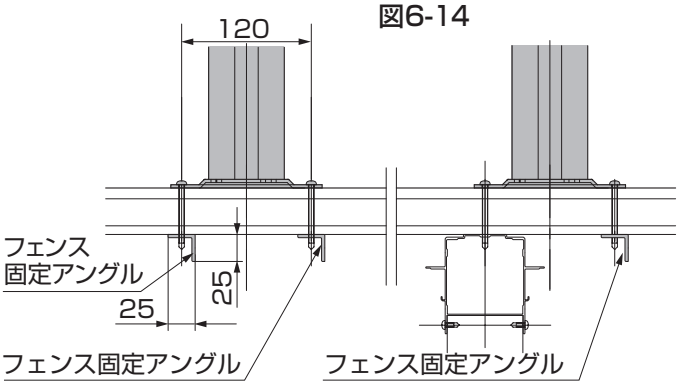


図6-16

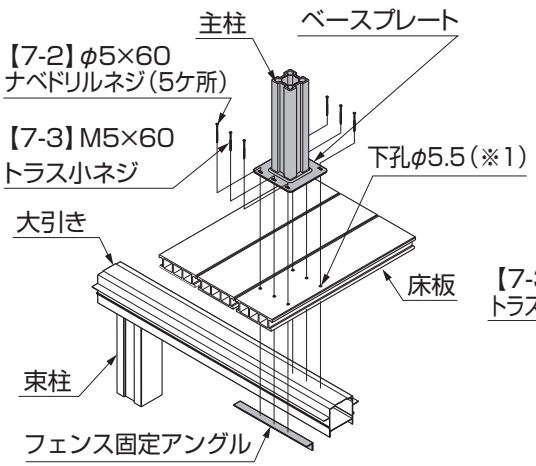


図6-17　片側大引き固定

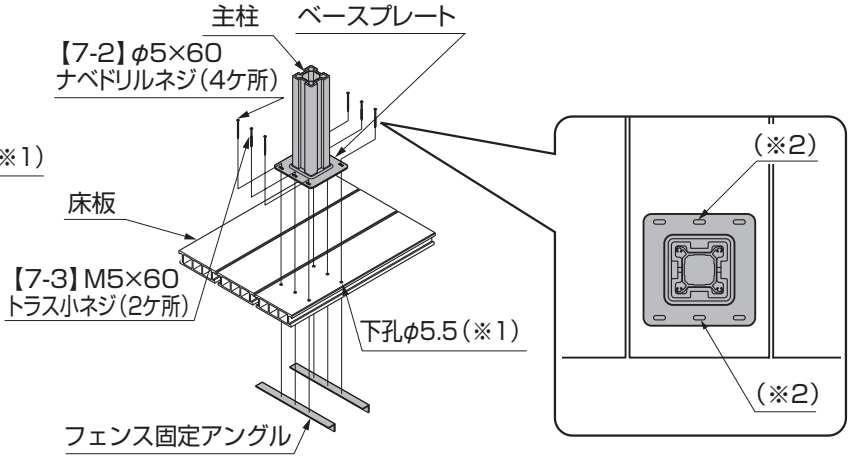


図6-18　大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図6-13、図6-14、図6-15、図6-16を参照して取付けてください。
- ●図6-15のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●図6-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。（※1）

④片側大引き固定の場合は、「 6-1 ベース柱（1）正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【7-3】で2ケ所取付けてください。（※2）

⑥ベースプレートを【7-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ケ所取付けてください。

6. つづき

（4）側面床板補強材固定の場合

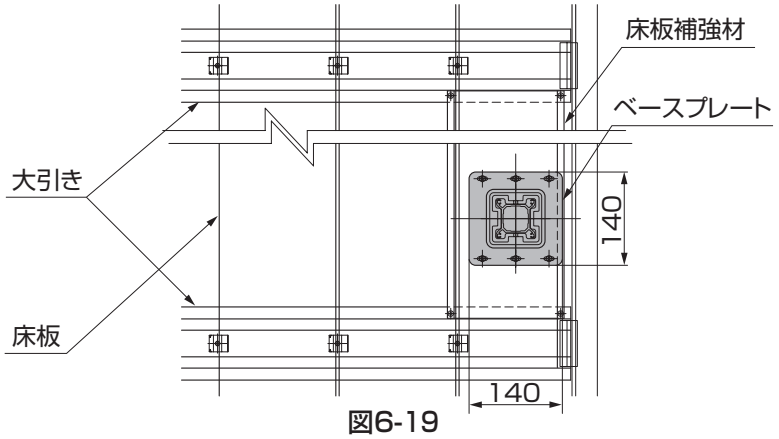


図6-19

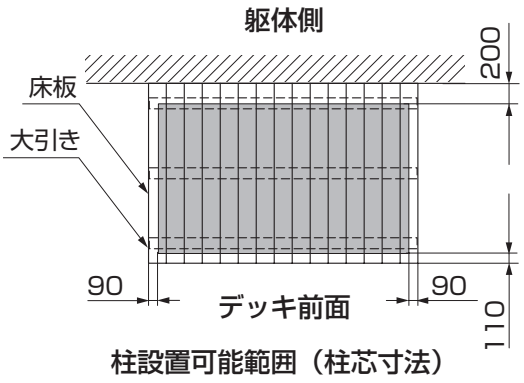


図6-20

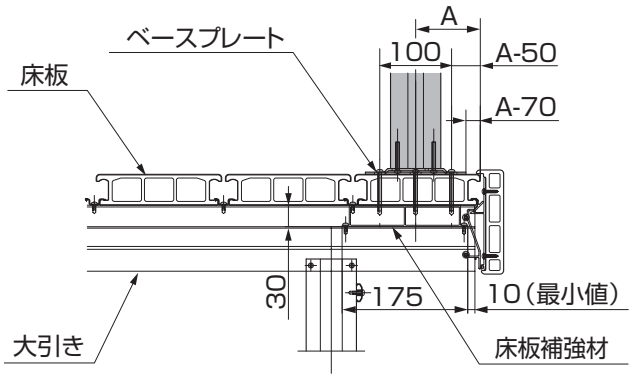


図6-21

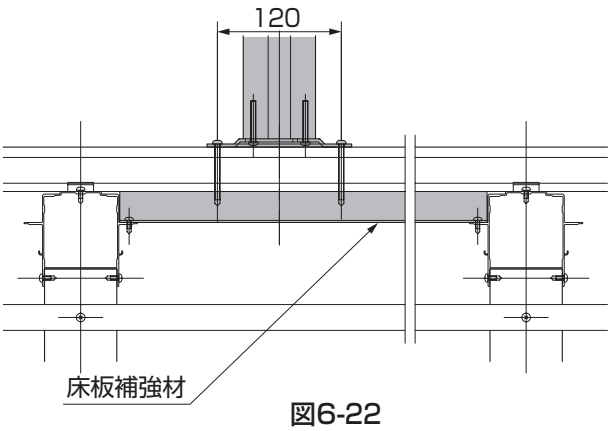


図6-22

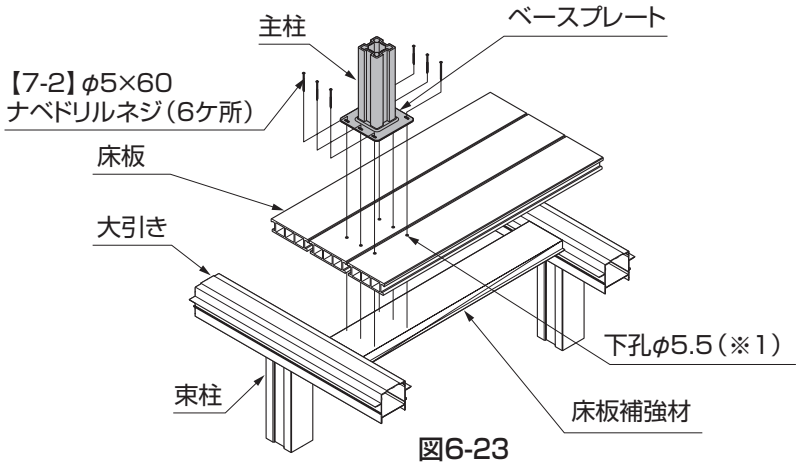


図6-23

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●デッキ施工前に補強材を取付けてください。
- ●デッキに図6-19、図6-20、図6-21、図6-22を参照して取付けてください。
- ●図6-21のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●図6-21のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- ●柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。（※1）

④ベースプレートを【7-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

7. ボードラインの取付け　ベース仕様

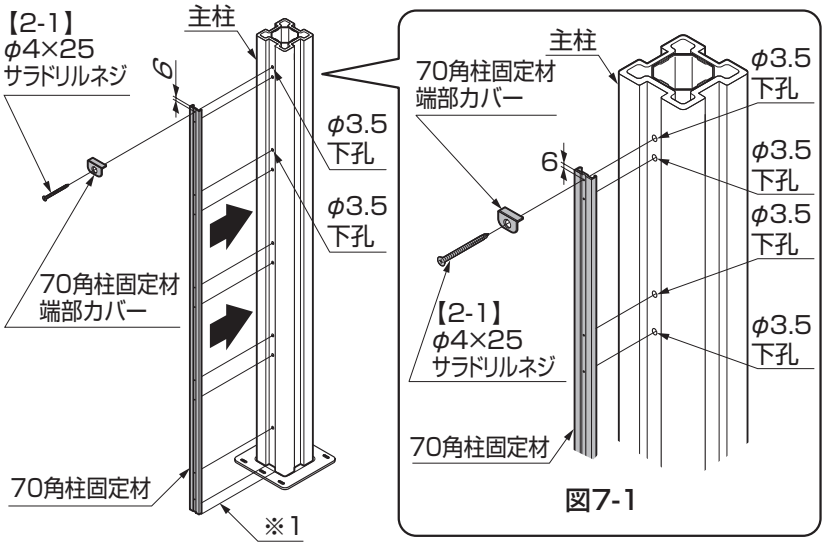


図7-1

①ボードを取付ける面を確認して、主柱の溝に70角柱固定材をはめこんでください。

②70角柱固定材を柱の下面の位置（※1）に合わせて、70角柱固定材のすべての孔位置で、主柱にφ3.5の下孔をあけてください。（図7-1参照）

③70角柱固定材端部カバーを【2-1】で上部に固定してください。（図7-1参照）

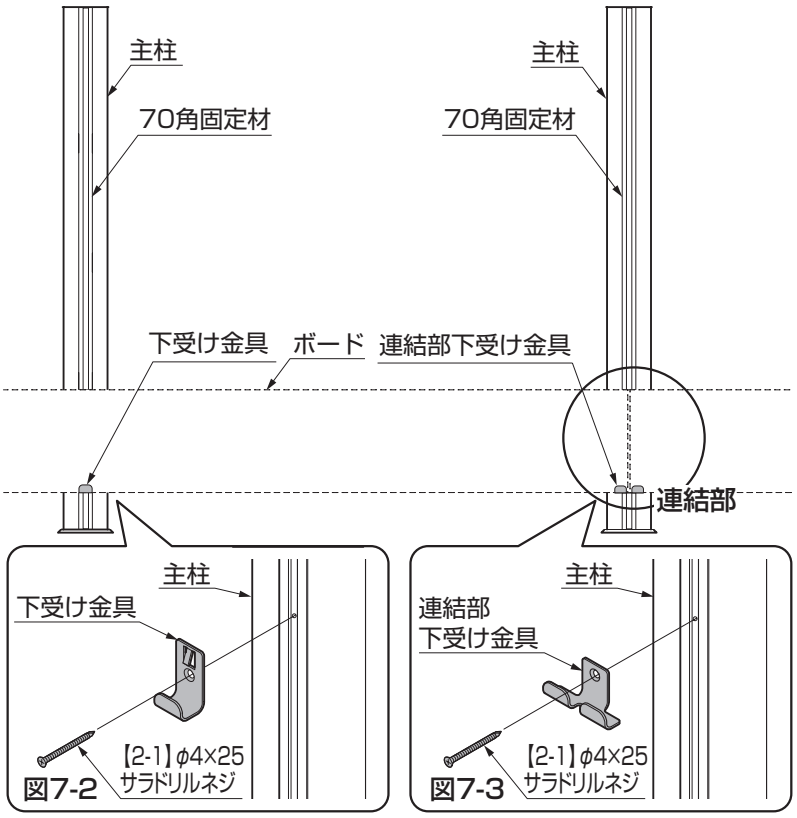


図7-2　図7-3

④70角柱固定材の孔に合わせて、下受け金具または連結部下受け金具を、【2-1】で取付けてください。（図7-2、7-3参照）

ポイント

●ボードの連結部位置の70角固定材には連結部下受け金具を取付けてください。

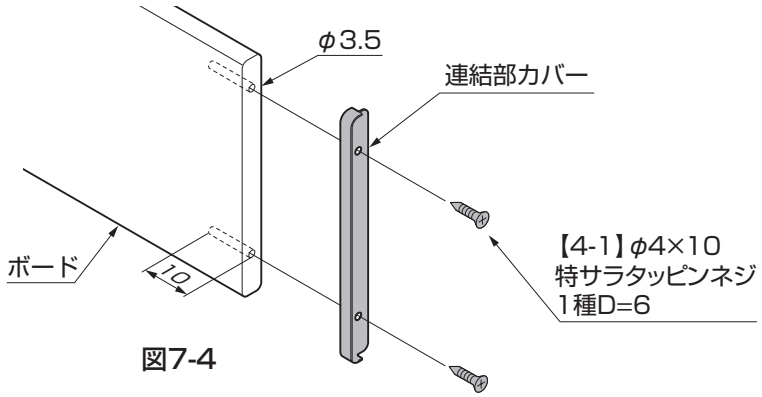


図7-4

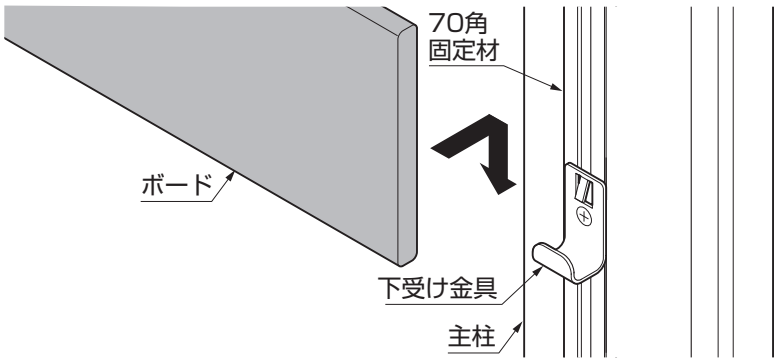
⑤連結部カバーを連結するボードの片側の端面に、【4-1】で取付けてください。（図7-4参照）

ポイント

●取付ける孔位置に、φ3.5で深さ10の下孔を開けてから取付けてください。

E211_200807B

7. つづき



⑥ボードを下受け金具に載せて、ボードの端部張り出し寸法および連結部の位置を確認し、左右方向の調整をしてください。
（図7-5参照）

ポイント

●ボードを固定した後は、左右方向の調整ができなくなります。

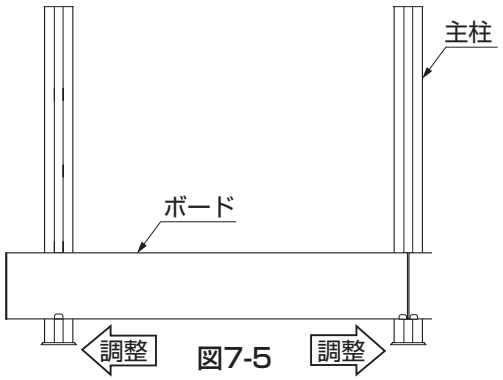
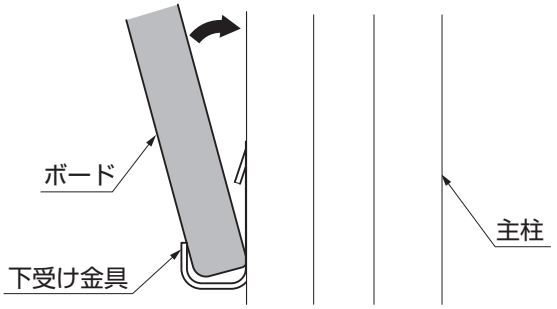


図7-5



⑦ボードを主柱に押し付け、上止め金具または連結部上止め金具と【2-1】で、70角柱固定材の下孔に合わせて、ボードを固定してください。（図7-6、7-7参照）

ポイント

●ボードの連結部位置の柱には連結部上止め受け金具を取付けてください。

⑧2枚目以降も、同様に取付けてください。

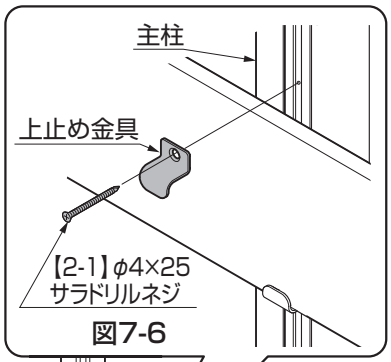


図7-6

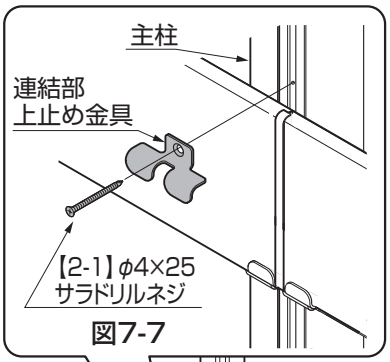
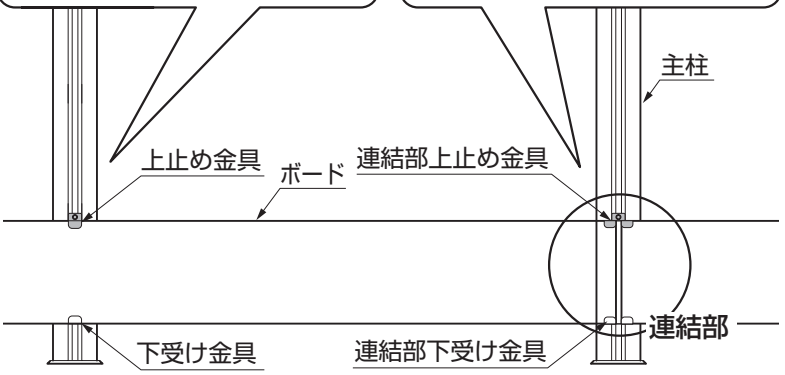


図7-7



E211_200807B

7. つづき

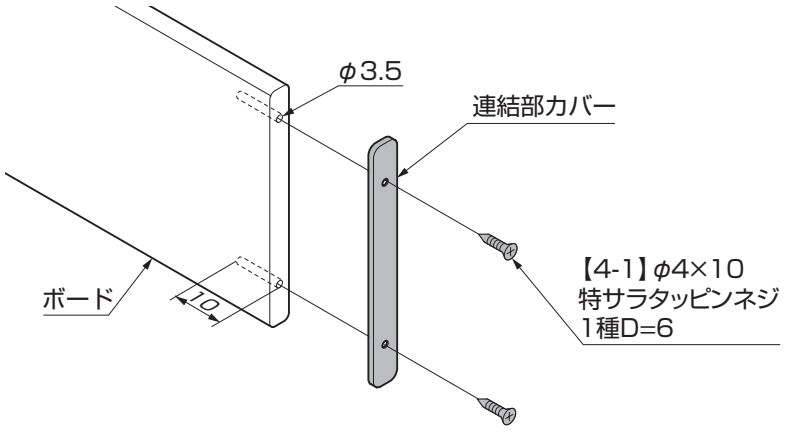


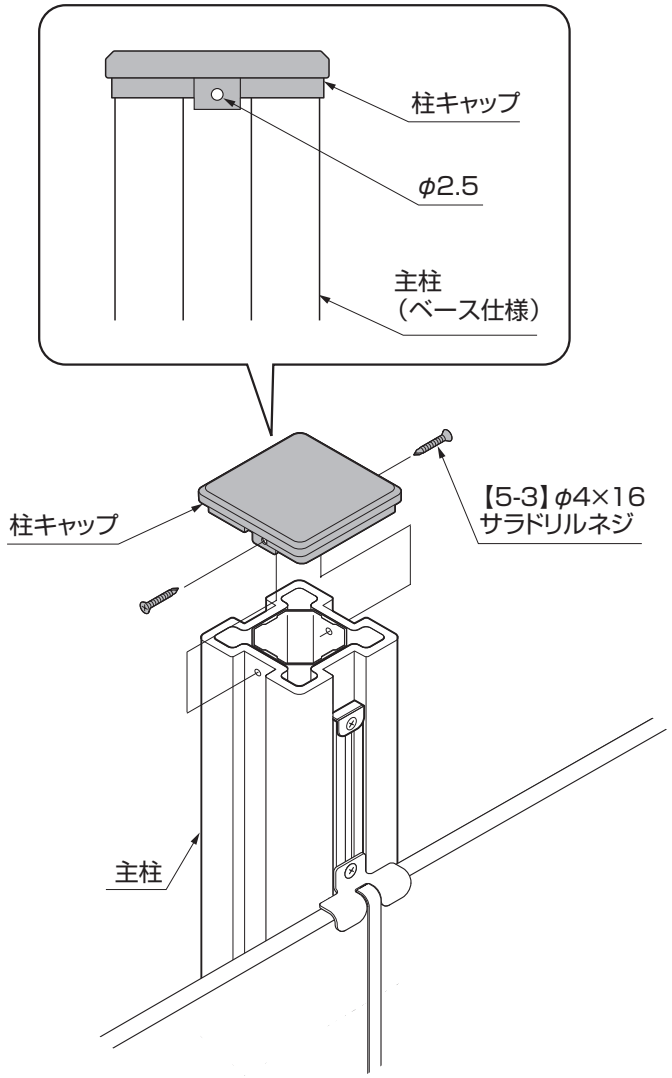
図7-8

⑨ボードの端部に端部カバーを、【4-1】で取付けてください。（図7-8参照）

ポイント

●取付ける孔位置に、φ3.5で深さ10の下孔をあけてから取付けてください。

8. 柱キャップの取付け



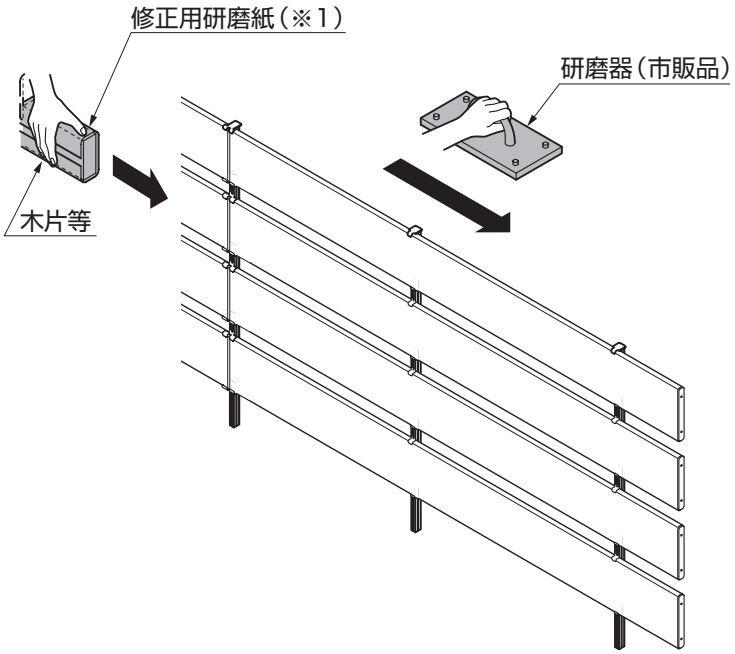
①フェンスが取付いている向きに柱キャップのネジ位置に合わせて、柱キャップのネジ位置にそって柱に、φ2.5の下孔をあけてください。

②柱キャップを主柱に、【5-3】で固定してください。

E211_200807B

9. 施工後の仕上げ

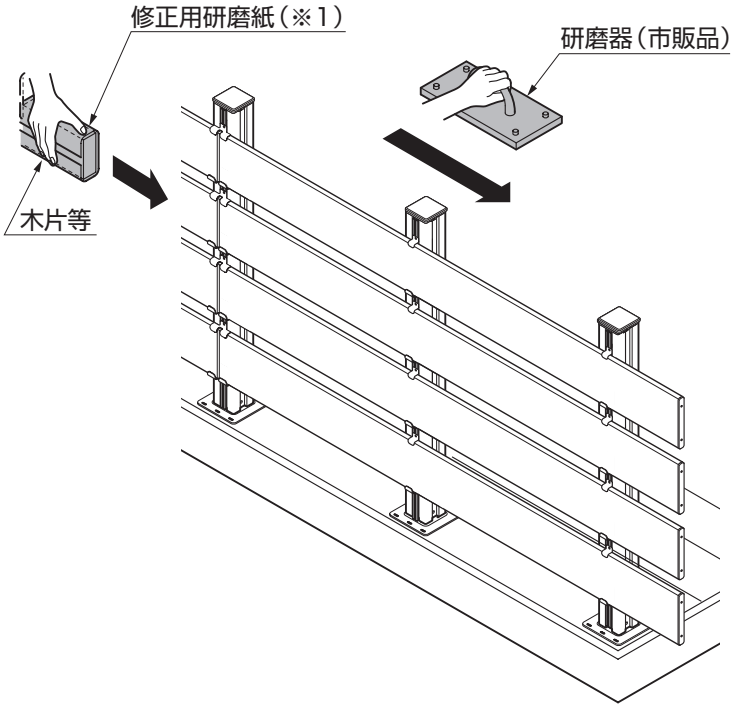
9-1 埋込み仕様



ポイント

- ●施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。
- ●1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- ●平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。（※1）
- ●製品お引き渡しの際は、お客様に修正用研磨紙による補修方法について説明をしてください。

9-2 ベース仕様



補 足

- ●市販の研磨器等（研磨紙を取付ける器具）を使うときれいに仕上げることができます。
- ●市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

取説コード
E211

JWZ610488A
200603A_1041
200807B_1041